第３章　路上（野宿）生活までのいきさつ

１　職業と従業上の地位

路上(野宿)生活直前に就いていた仕事について、職業、従業上の地位についてみたものは、表１４のとおりである。

まず、職業については、「建設作業従事者」が 733 人（34.9%)、「建設技能従事者」が 426 人（20.3%）と建設業関係が約５割となっている。続いて、「生産工程・製造作業者」が 221 人（10.5%）となっている。次に「サービス従事者」が 187 人（8.9%)、「販売従事者」が 90 人（4.3%）となっている。

表１４　問１４　路上（野宿）生活をする前にやっていた仕事は何ですか。

	人数	%	有効%
専門・技術的従事者	21	1.0	1.0
管理的職業従事者	18	0.8	0.9
事務従事者	24	1.1	1.1
販売従事者	90	4.2	4.3
サービス従事者	187	8.6	8.9
保安職業従事者	56	2.6	2.7
農林漁業作業者	12	0.6	0.6
運輸、通信従事者	78	3.6	3.7
採掘作業者	0	0.0	0.0
生産工程・製造作業者	221	10.2	10.5
印刷・製本作業者	19	0.9	0.9
建設技能従事者（大工、配管工など）	426	19.7	20.3
建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	733	33.9	34.9
労務・運搬作業従事者	65	3.0	3.1
清掃作業・廃品回収	61	2.8	2.9
その他	91	4.2	4.3
有効回答数	2,102	97.2	100.0
職業なし	43	2.0	
無回答	18	0.8	
合計	2,163	100.0	

また、直前職時の従業上の地位をみたものが表１５である。最も多いのが「常勤職員・従業員（正社員)」で 834 人（39.8%）となっている。次に「日雇」で 757 人（36.1%)、「臨時・パート・アルバイト」で 291 人（13.9%）となっている。「日雇」、「臨時・パート・アルバイト」

を合わせると 1,048 人で 5 割を占めている。

表１５　問１５　その時の立場はなんでしたか。

	人数	%	有効%
経営者・会社役員	46	2.1	2.2
自営・家族従業者	83	3.8	4.0
常勤職員・従業員（正社員）	834	38.6	39.8
臨時・パート・アルバイト	291	13.5	13.9
日雇	757	35.0	36.1
その他	87	4.0	4.1
有効回答数	2,098	97.0	100.0
無回答	19	0.9	
非該当	46	2.1	
合計	2,163	100.0	

次に、最も長く就いていた仕事について、職業、従業上の地位についてみたのが、表１６である。

まず、職業については、「建設作業従事者」が 473 人（22.1%）、「建設技能従事者」が 441 人（20.6%）と建設業関係が約 4 割となっている。直前職と同様、一番大きい比率であるが、その割合は若干下がっている。続いて、「生産工程・製造作業者」が 368 人（17.2%）、「サービス従事者」が 252 人（11.7%）、「販売従事者」が 124 人（5.8%）となっている。

表１６　問１６　これまで一番長くやっていた仕事は何ですか。（主な仕事）

	人数	%	有効%
専門・技術的従事者	30	1.4	1.4
管理的職業従事者	28	1.3	1.3
事務従事者	52	2.4	2.4
販売従事者	124	5.7	5.8
サービス従事者	252	11.7	11.7
保安職従事者	30	1.4	1.4
農林漁業作業者	30	1.4	1.4
運輸、通信従事者	108	5.0	5.0
採掘作業者	3	0.1	0.1
生産工程・製造作業者	368	17.0	17.2
印刷・製本作業者	27	1.2	1.3

建設技能従事者（大工、配管工など）	441	20.4	20.6
建設作業従事者（土木工、現場片づけなど）	473	21.9	22.1
労務・運搬作業従事者	58	2.7	2.7
清掃作業・廃品回収	31	1.4	1.4
その他	90	4.2	4.2
有効回答数	2,145	99.2	100.0
職業なし	9	0.4	
無回答	9	0.4	
合計	2,163	100.0	

また、最長職時の従業上の地位を見たものが表１７である。最も多いのが「常勤職員・従業員（正社員)」で 1,208 人（56.7%)、次に「日雇」で 497 人（23.3%)、「臨時・パート・アルバイト」で 166 人（7.8%）となっている。「日雇」、「臨時・パート・アルバイト」を合わせると 663 人で３割となるが、直前職時の５割よりも低い数値となっている。

表１７　問１７　その仕事をしているときは、どんな立場で働いていましたか。

	人数	%	有効%
経営者・会社役員	66	3.1	3.1
自営・家族従業者	132	6.1	6.2
常勤職員・従業員（正社員）	1,208	55.8	56.7
臨時・パート・アルバイト	166	7.7	7.8
日雇	497	23.0	23.3
その他	63	2.9	3.0
有効回答数	2,132	98.6	100.0
無回答	18	0.8	
非該当	13	0.6	
合計	2,163	100.0	

2　路上(野宿)生活になった理由

次に、路上(野宿)生活になった主な理由をまとめたのが表１８である。「仕事が減った」が 768 人（35.6%）と最も多く、次いで「倒産・失業」が 708 人（32.9%）となっており、仕事関係が上位を占めている。

表１８　問１８　今回の路上（野宿）生活をするようになった主な理由は何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%

倒産・失業	708	19.2	32.9
仕事が減った	768	20.8	35.6
病気・けが・高齢で仕事ができなくなった	406	11.0	18.8
収入が減った	354	9.6	16.4
ローンが払えなくなった	49	1.3	2.3
家賃が払えなくなった	327	8.9	15.2
ホテル代、ドヤ代が払えなくなった	177	4.8	8.2
建て替え等による住宅の追い立てにあった	22	0.6	1.0
借金取立により家を出た	92	2.5	4.3
差し押さえによって立ち退きさせられた	12	0.3	0.6
病院や施設などから出た後行き先がなくなった	41	1.1	1.9
家庭内のいざこざ	160	4.3	7.4
飲酒、ギャンブル	126	3.4	5.8
その他	416	11.3	19.3
理由無し	32	0.9	1.5
有効回答数	3,690	100.0	171.2
有効回答者数	2,155	99.6	
無回答	8	0.4	
合計	2,163	100.0	

※回答％は有効回答数に占める割合、ケース％は有効回答者数に占める割合

3　居住形態と住居負担

路上（野宿）生活をする直前の居住形態については、表１９で表している。最も多いのが「民間賃貸住宅（アパート・マンション)」であり 805 人（37.5%）となっている。次に、「飯場・作業者宿舎」が 299 人（13.9%)、「勤め先の社宅や寮」297 人（13.8%)、「簡易宿泊所（ドヤ)」が 254 人（11.8%）となっている。

表１９　問１９　今回の路上（野宿）生活をする前に、住んでいたのはどこですか。一つ選んでください。（路上（野宿）生活中に一時的に泊まったところは除く。
路上（野宿）生活が多くなる前の住居）

	人数	%	有効%
持ち家（一戸建て、マンションなど）	173	8.0	8.1
民間賃貸住宅（アパート・マンション）	805	37.2	37.5

公共賃貸住宅（公団賃貸住宅・公営住宅等）	69	3.2	3.2
勤め先の住宅や寮	297	13.7	13.8
親族・知人宅	66	3.1	3.1
住込み先	76	3.5	3.5
飯場・作業者宿舎（飯場など現場に仮設された宿舎）	299	13.8	13.9
簡易宿泊所（ドヤ）	254	11.7	11.8
ビジネス・カプセルホテル・サウナ・映画館	41	1.9	1.9
病院	15	0.7	0.7
更正施設等の福祉施設	13	0.6	0.6
その他	41	1.9	1.9
有効回答数	2,149	99.4	100.0
無回答	14	0.6	
合計	2,163	100.0	

その時の家賃や住宅ローンなどの住居負担を表しているのが表２０である。「３～５万円未満」が 597 人（28.4%）と最も多く、次に「３万円以内」が 536 人（25.5%）となっている。一方、「住居費の負担はなかった」が 501 人（23.8%）となっている。

表２０　問２０　その時の家賃や住宅ローンなどの住居負担は月いくらでしたか。

	人数	%	有効%
3 万円以内	536	24.8	25.5
3～5 万円未満	597	27.6	28.4
5～10 万円未満	416	19.2	19.8
10 万円以上	52	2.4	2.5
住宅費の負担はなかった	501	23.2	23.8
有効回答数	2,102	97.2	100.0
無回答	61	2.8	
合計	2,163	100.0	

また、その時に住んでいた地域を現在路上生活している都道府県内・外で整理したものが表２１である。「現在路上（野宿）生活している都道府県内」が 1,446 人（68.5%）と約７割になっている

表２１　問２１　その時に住んでいた地域はどちらですか。

	人数	%	有効%
現在路上（野宿）生活している都道府県内	1,446	66.9	68.5

路上（野宿）生活している都道府県外	665	30.7	31.5
有効回答数	2,111	97.6	100.0
無回答	52	2.4	
合計	2,163	100.0	

4　特定地域・場所での就労・求職状況

下記の特定地域・場所での就労・求職状況を見たものが表２２である。782 人（36.2%）が就労又は求職を行っている。

表２２　問２２　これまで東京・山谷、横浜・寿町、大阪・釜ヶ崎、名古屋・笹島などで、仕事をしたり仕事を探したことがありますか。当てはまるものをすべて選んでください。

（複数回答）	件数	回答%	ケース%
山谷（東京）	245	22.4	31.3
寿町	158	14.4	20.2
釜ヶ崎	386	35.3	49.4
笹島	153	14.0	19.6
その他の寄せ場	152	13.9	19.4
有効回答数	1,094	100.0	139.9
有効回答者数	782	36.2	
なし	1,376	63.6	
無回答	5	0.2	
合計	2,163	100.0	

※回答%は有効回答数に占める割合、ケース%は有効回答者数に占める割合